

# **(仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業 中間報告会**

2022年11月

十和田風力開発株式会社

※現時点での予定であり、今後の調査及び関係機関との協議等の結果により変更の可能性があります。

# (仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の概要について

2022年11月時点資料

## ① 計画概要 (2021年6月方法書時点)

事業名称 : (仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業  
事業者 : 十和田風力開発株式会社  
(日本風力開発株式会社 出資100%子会社)  
事業実施区域 : 青森県十和田市  
風力発電所総出力 : 最大180,000kW  
風力発電機出力 : 3,600~4,200kW  
設置予定基数 : 最大43基

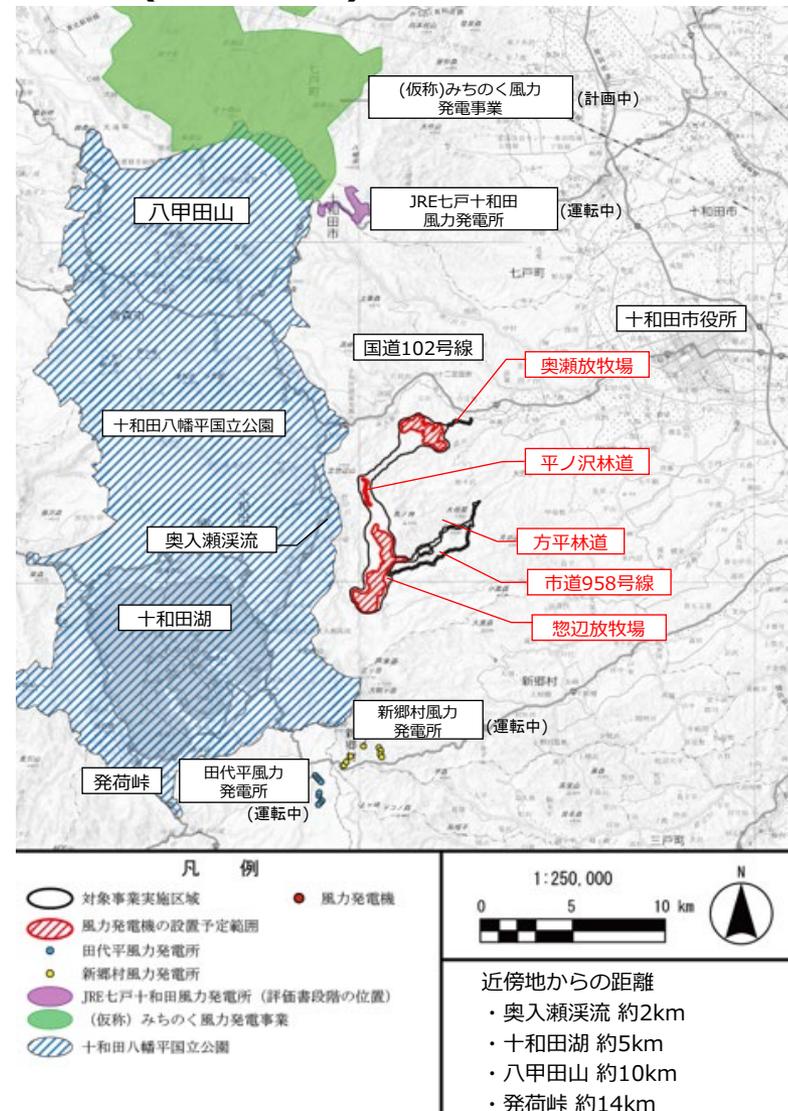
## ② 事業工程

環境影響評価期間 : 2020年 7月 ~ 2024年12月 (予定)  
基本計画期間 : 2021年12月 ~ 2024年 5月 (予定)  
工事開始 : 2025年 6月 (予定)  
試運転開始 : 2029年 1月 (予定)  
営業運転開始 : 2029年 7月 (予定)  
事業期間 : 2029年 7月 ~ 20年間を予定

## ③ 事業経緯

2018年 : 開発の事前調査及び風況調査の準備  
2019年 : 風況観測塔を設置し、風況観測を開始  
2020年 : 環境影響評価法に基づき、配慮書を発行・公表  
2021年 : 配慮書で受領した意見を反映し方法書を発行・公表  
2022年 : 準備書に向けた現況調査を実施中

## 位置図 (方法書時点)

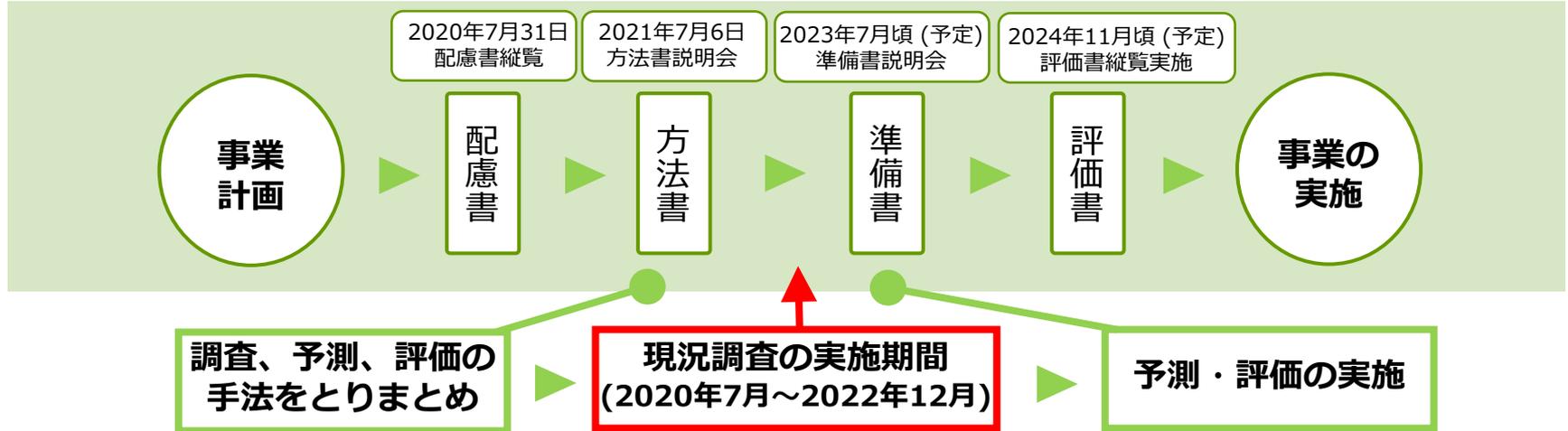


# 環境影響評価手続きの進捗について

2022年11月時点資料

## ① 環境影響評価法手続きについて

事業の実施に当たり、**環境影響評価法**に基づき、**環境への影響を評価し**、その結果を踏まえて**影響をより小さくする**ための対策を講じていく手続きを行っております。



## ② 調査・予測評価項目



### 【希少猛禽類の先行調査】

- ・ 専門家ヒアリングの実施
- ・ 事業地及び周辺一帯を対象とした調査

### 【景観の追加調査】

- ・ 八甲田山周辺箇所及び周遊道路
- ・ 十和田湖西湖畔周辺地域

## 住民の皆さま及び関係機関からのご意見について

2022年11月時点資料

### ① 主なご意見

景観	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 十和田湖、奥入瀬溪流の景観について</li><li>・ 八甲田山周辺からの景観調査を実施してほしい</li><li>・ フォトモンタージュ等を用いて情報提供してほしい</li></ul>
文化財等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 十和田古道の遺産としての価値について</li><li>・ 十和田古道の観光活用の可能性について</li><li>・ 古道（景観・人触れ場）に関し専門家から意見聴取を行うこと</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 工事による奥入瀬溪流の水質及び濁水の懸念について</li><li>・ 盛土による土砂災害への懸念について</li><li>・ 鳥類や生態系を含む周囲の自然環境への懸念について</li><li>・ 影、騒音、低周波音、土砂崩れなど住環境への影響懸念について</li></ul>

### ② 計画への各種検討状況



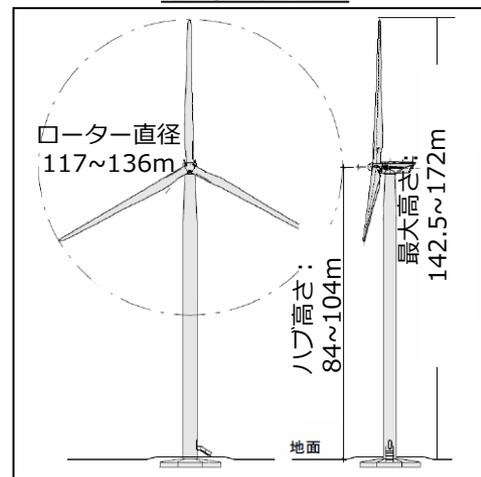
景観	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 十和田湖、奥入瀬溪流等国立公園の眺望景観について配慮した計画を検討中</li><li>・ 八甲田山におけるビュースポット、周遊道路からの景観調査を実施</li><li>・ 牧場景観においては眺望対象・眺望方向を前提に配慮した計画を検討中</li></ul>
文化財等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 十和田古道の情報収集や現地確認を行い、計画を調整する予定</li><li>・ 十和田古道の観光活用に関して地元との共存を協議予定</li><li>・ 専門家への意見聴取を参考に配置を検討</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 工事中の排水計画を立て、濁水対策を行う</li><li>・ 土地の改変を必要最小限にし、早期緑化を計画する</li><li>・ 希少猛禽類、渡り鳥、動植物の調査結果を踏まえ計画に反映する</li><li>・ 配置を見直し、居住環境への影響を回避・低減</li></ul>

## ① 風車設備について

➤ 風車機種の変更 (V136型・V117型の併用)

- ・ 支柱高さの変更
- ・ ローター径 (羽根の長さ)の変更

風車外形図



2022年11月時点資料

## ② 運搬車両について

ブレードの起立



## ③ 配置について移動や基数の削減を検討



2022年11月時点資料

←→ : 風力発電機が位置する範囲

↓ : 視認される風力発電機

□ : 拡大範囲

## ① 発荷峠展望台 【国立公園の展望園地】

方法書時点案 (繁茂期)

垂直視野角 最大約0.3度 (輪郭がやっと分かる程度にブレードの一部が視認)



低減案 (落葉期)

不可視



## ② 御鼻部山展望台 【国立公園の展望園地】

方法書時点案 (繁茂期)

不可視



低減案 (落葉期)

不可視



←→ : 風力発電機が位置する範囲

2022年11月時点資料

かんこだい  
③ 瞰湖台 【国立公園の展望園地】

方法書時点案 (繁茂期)  
不可視



低減案 (落葉期)  
不可視



④ 十和田神社 (お占場に降りるハシゴ付近)

方法書時点案 (落葉期)  
不可視



低減案 (落葉期)  
不可視



←-→ : 風力発電機が位置する範囲

↓ : 視認される風力発電機

□ : 拡大範囲

2022年11月時点資料

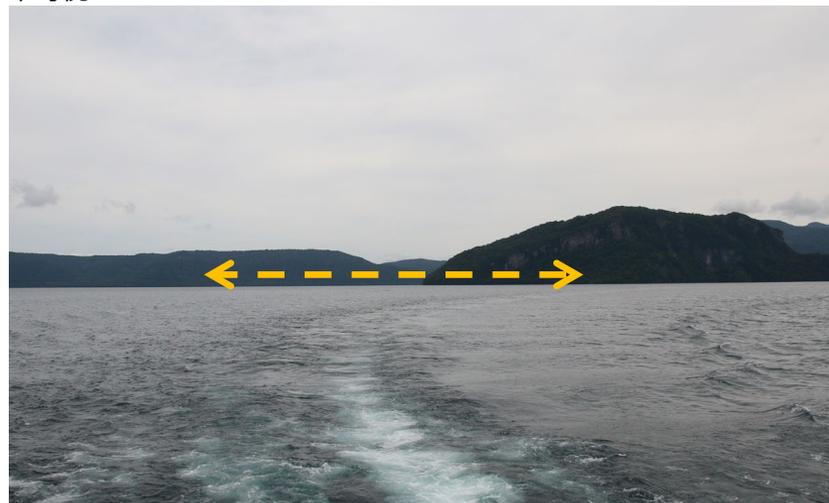
方法書時点案 (繁茂期)

垂直視野角 最大約0.1度 (輪郭がやっとわかる程度にブレードの先端のみ視認)



低減案 (繁茂期)

不可視



## ⑤ 十和田湖遊覧船



【奥入瀬溪流図】

<--> : 風力発電機が位置する範囲

◇ : 事業位置と写真撮影の方向

2022年11月時点資料



## ⑥奥入瀬溪流館

方法書時点案 (繁茂期) 不可視



低減案 (落葉期) 不可視



## ⑦石ケ戸

方法書時点案 (繁茂期) 不可視



低減案 (落葉期) 不可視



## ⑧子ノ口

方法書時点案 (繁茂期) 不可視



低減案 (落葉期) 不可視



至  
十和田湖  
↓

⑧子ノ口

石ヶ戸休憩所～十和田湖方面へ  
(国道102号・103号)  
不可視

遊歩道/乗用車/2階建てバス

# フォトモンタージュ⑨

←-→ : 風力発電機が位置する範囲

↓ : 視認される風力発電機

□ : 拡大範囲

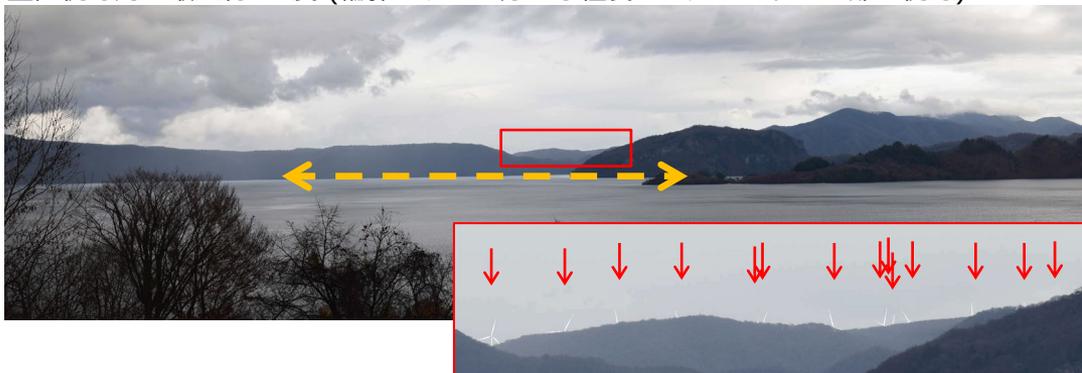


2022年11月時点資料

## ⑨十和田ホテル 特別室

方法書時点案 (落葉期)

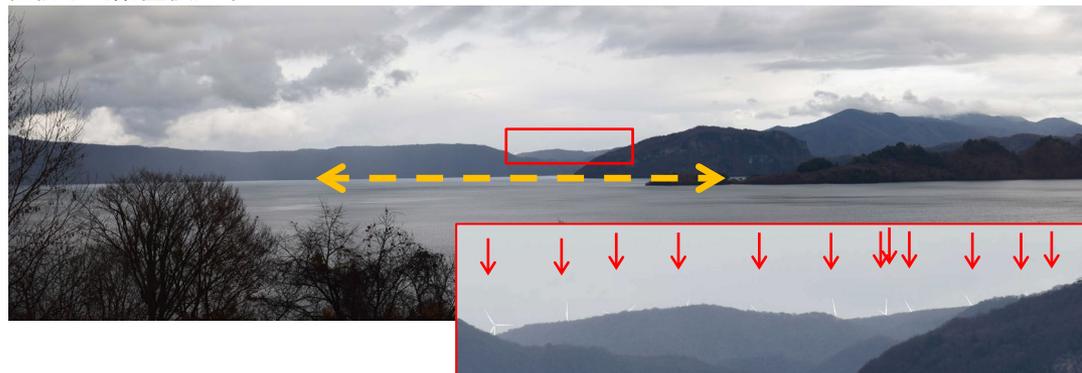
垂直視野角 最大約0.4度 (輪郭がやっと分かる程度に、ブレードの一部が視認)



低減案 (落葉期)

垂直視野角 最大約0.4度 (輪郭がやっと分かる程度に、ブレードの一部が視認)

継続して配置検討中



## ⑨十和田ホテル 一般室

方法書時点案 (落葉期)

不可視



低減案 (落葉期)

不可視



2022年11月時点資料

- ↔ : 風力発電機が位置する範囲
- ┌─┐ : 視認される風力発電機が位置する範囲
- : 拡大範囲
- ◆ : 事業位置と写真撮影の方向



## ⑩道の駅奥入瀬ろまんパーク 築山

方法書時点案 (繁茂期)

垂直視野角 最大約1.5度 (シルエットになっている場合には良く見える程度)



低減案 (落葉期)

垂直視野角 最大約0.9度 (十分見えるが、景観的にはほとんど気にならない程度)

奥瀬側の風車を削除



←-> : 風力発電機が位置する範囲

↓ : 視認される風力発電機

□ : 拡大範囲

## ⑪ 青撫山バイパス

方法書時点案 (落葉期)

垂直視野角 最大約0.6度 (視認できるが景観的には気にならない程度)



低減案 (落葉期)

垂直視野角 最大約0.6度 (視認できるが景観的には気にならない程度)

継続して配置検討中



## ⑫ 惣辺放牧場南あずま屋

2022年11月時点資料

方法書時点案（繁茂期）

垂直視野角 最大約23度（主眺望対象である稜線を分断）



低減案（落葉期）

主眺望対象である稜線の分断を回避

眺望方向を踏まえ、御鼻部山から八甲田山にかけての風車を削除。



←→ : 風力発電機が位置する範囲

2022年11月時点資料

## ⑬八甲田ロープウェー山頂駅デッキ

方法書時点案 (繁茂期)

不可視



低減案 (繁茂期)

不可視



←→ : 風力発電機が位置する範囲

┌───┐ : 視認される風力発電機が位置する範囲

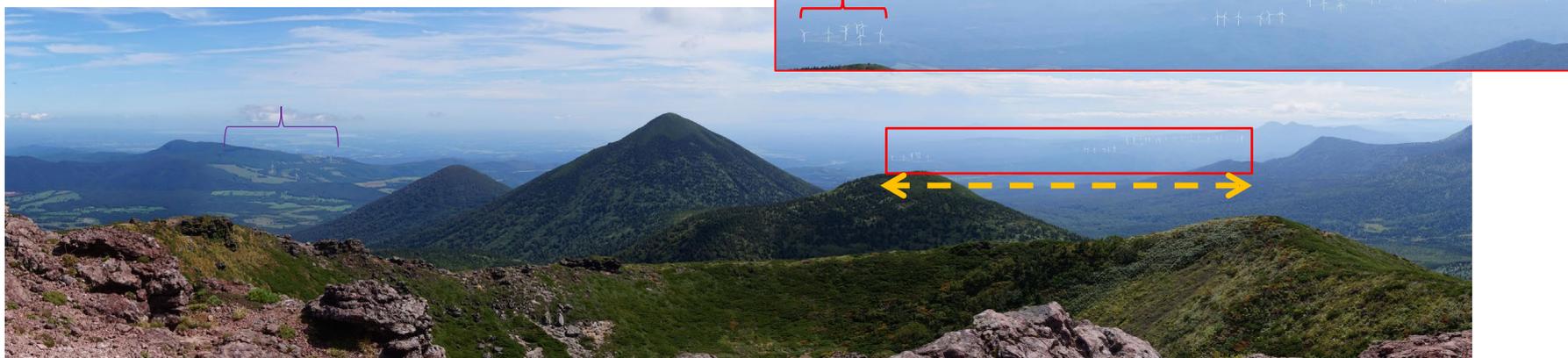
□ : 拡大範囲

2022年11月時点資料

## ⑭八甲田大岳

方法書時点案

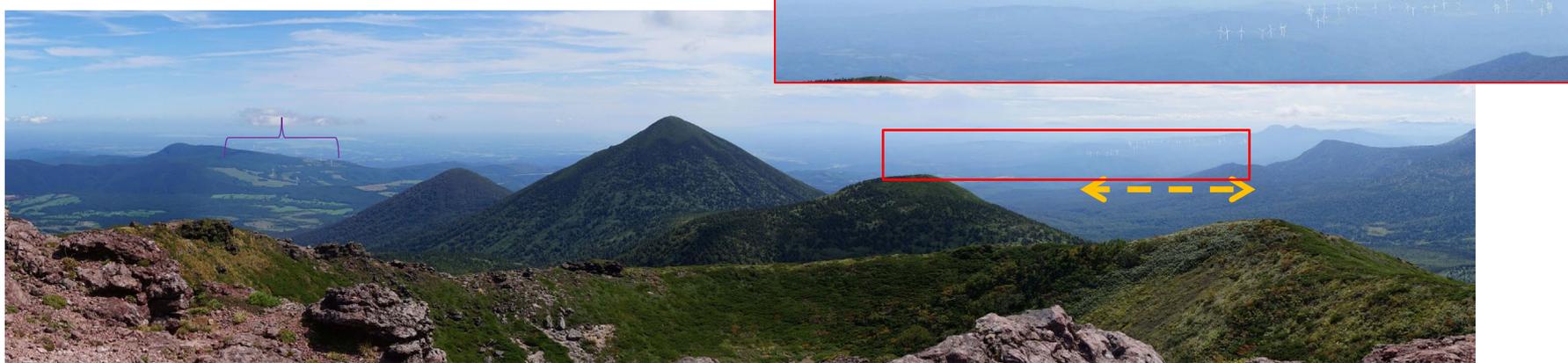
垂直視野角 最大約0.6度 (視認できるが景観的には気にならない程度)



低減案

垂直視野角 最大約0.6度 (視認できるが景観的には気にならない程度)、奥瀬側の風車を削除

継続して配置検討中



北八甲田周遊道路から奥入瀬溪流にいたる道路  
(103号線)

- ・ 酸ヶ湯付近
- ・ 谷地温泉付近
- ・ 蔦温泉付近

## 1. 惣辺放牧場と周辺について

- ・青森県内の放牧場と風力発電所との共存事例について、現在まで牛や人に関する影響はないことを確認しております。（六ヶ所村及び青森県へ確認済）  
また、今後も牛のモニタリング等を考えております。
- ・市道958号線は工事車両の通行を予定しておりますので、待避所等の整備を検討しております。
- ・方平林道は風車運搬路として拡幅整備を予定しております。
- ・風車設備への管理用道路については、既存の林道や放牧場内の通路等を整備することを予定しております。
- ・平ノ沢林道についても工事車両及び風車の運搬路・管理用道路としての利用を検討しております。

## 2. 保安林について

- ・林道や牧場内の管理用道路をできるだけ活用し、土地改変面積の低減を図りたいと考えております。
- ・保安林内に関する技術指針に基づき検討してまいります。
- ・施設周辺の保安林の手入れ等を考えております。
- ・計画地周辺の山林への植樹を予定しております。

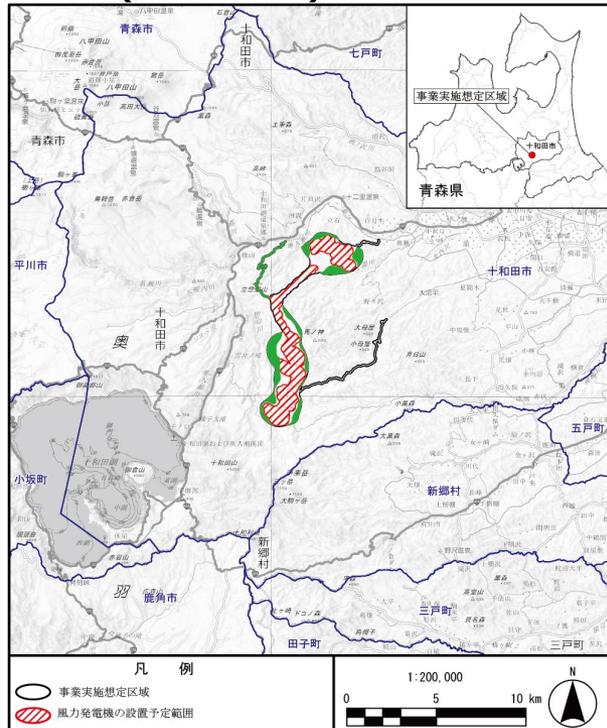
## 3. 景観と観光資源について

- ・奥入瀬溪流、十和田湖、八甲田山等へは自然公園法の細部解釈や運用方法、技術的ガイドラインを参考に専門家や関係機関等の意見を鑑み、観光業への景観配慮を検討してまいります。

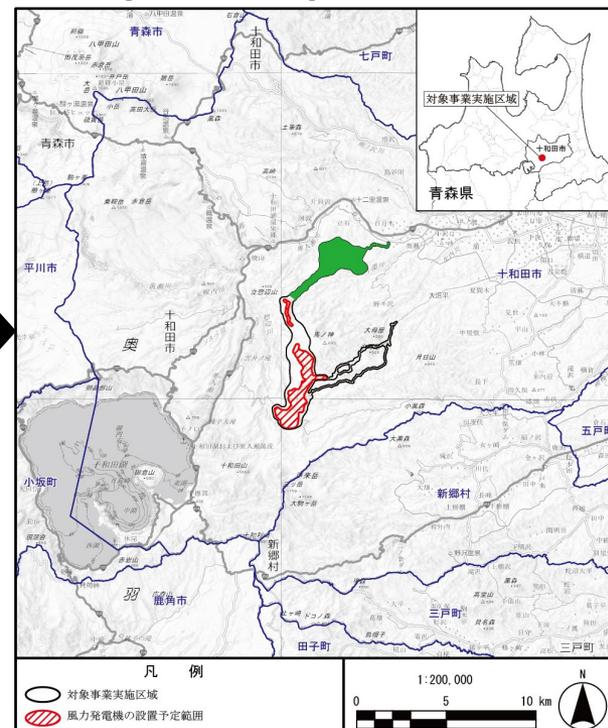
# 事業計画における検討推移について

2022年11月時点資料

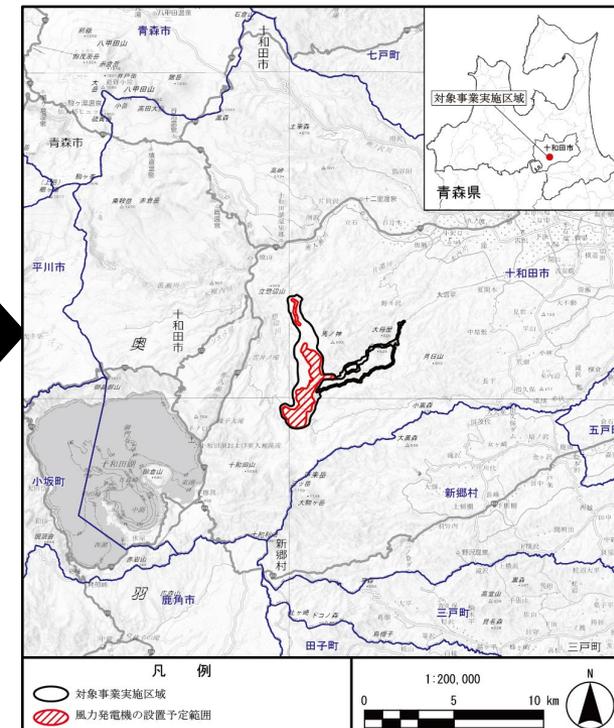
事業実施想定区域  
配慮書 (2020年7月)



事業実施区域  
方法書 (2021年6月)



事業実施区域検討 (案)



 : 削除した区域

- ・ 102号線からの搬入路を削除
- ・ 崩壊土砂流出危険区域の削除

- ・ 奥瀬地区側 (奥瀬放牧場) を削除
- ・ 送電線路を削除
- ・ 事業予定地は牧場内、牧場周辺及び林道周辺の山林を検討中

観光資源である「奥入瀬溪流、十和田湖、北八甲田周遊道路」並びに住環境へ配慮し、環境アセスメント方法書時点のご意見を踏まえ、フォトモンタージュを用いて事業実施区域及び基数・配置の見直しを検討しております。

## ①変更計画概要について

事業名称	:	(仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業
事業実施区域	:	青森県十和田市
風力発電所総出力	:	最大180,000kW→ <u>約130,000kW</u>
風力発電機出力	:	3,600~4,200kW
設置予定基数	:	最大43基→ <u>34基</u>

## ②準備書発行に向けての調査・検討について

- ・秋、冬、春(一部)の調査(追加調査)等を実施予定
- ・景観、造成、風車機種により配置計画を検討してまいります

**事業計画については、周辺環境との調和を図り、地元と共存した計画づくりを目指してまいります。**